

# 紅萌会会報

第22号

平成13年3月31日

天王寺高等学校同窓会  
大阪市阿倍野区三丁目4-23

発行人 中村俊之  
編集人 坂本篤夫

# 祝 母校創立50周年

## 延べ3841名の卒業生を送り出し、 歴史は21世紀へと引き継がれた!

### 5月20日(日) 記念式典&祝賀パーティ 天王寺都ホテルにて

学校・紅萌会・振興会が  
一体となって佳き日を祝う

### 盛大に開催!!

定員二クラス・二〇〇名、専任教員三名、  
裸電球がぶら下がった薄暗い教室で授業が始まった。

一九五二(昭和二六)年四月のことである。

それから半世紀、校舎も施設も一新されて、

母校満五〇歳の記念すべき節目を迎えようとしている。

奇しくも今年は二世紀のスタートの年、

記念式典・祝賀パーティに同窓生はこぞつて参加し、

先生方ともども大いに祝おうではないか。

### 拡大理事会を開催して記念事業を正式に決定

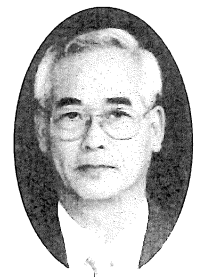
学校と紅萌会との間で、  
かねてより五〇周年記念事  
業に関する協議を重ねてき  
たが、式典開催予定日を四  
カ月後に控えた本年一月一  
八日、母校会議室において  
各卒業期の代表者を交えた  
紅萌会拡大理事会(兼創立  
五〇周年記念事業実行委員  
会)を開催し、以下の決定  
をみた。

●「お知らせ」参照。  
●記念誌について

正規の記念誌を発行した場  
合、郵送費も含めて三〇〇  
万円以上の費用が必要であ  
り、現在の資金状態では発  
行不可能である。したがっ  
て「紅萌会会報」拡大版  
(本紙)をもって記念誌  
(紙)とする。

●記念品について

在校生全員および記念式典  
出席者に、「五〇周年記念  
テレホンカード」(五〇度  
数)を配布する。  
●記念式典および祝賀会  
平成一三年五月二〇日、天  
王寺都ホテル本館において  
挙行する。\*詳細は別掲の



学校長 松田 孝一

## 五十周年を祝す

一九五一年(昭和二十六  
年)四月一日、大阪府立天  
王寺高等学校定時課程普  
通科として出立した本校  
は、今年で満五十年を迎え  
ました。時の流れは光陰矢  
のごとしと言えども、やは  
り五十年は決して短い期間  
ではなかったと思います。

半世紀にわたって紆余曲折  
をみながら本校の基礎を造  
り、その上に伝統の花を咲  
かせ、今日の姿にしてこら  
れた教職員と卒業生皆様方  
の営々たるご努力に、心か  
ら成る謝意を表したいと思  
います。

本校は『和を尊び誠実を  
旨とする。質実剛健を旨と  
し明朗闊達な気風を醸成す  
る。人に接するに気中あり、  
ことを処するに聡明なるを  
由とする』との校訓を掲げ、  
その後約四〇〇〇人弱の有  
為な人材を送り出し続けて  
きたのでした。

学ぶと言葉で言うのは簡  
単でしょうが、その時々の  
世に満ちた誘惑と困難を自  
ら取捨選択制御し、今日の  
繁栄をもたらした戦後経済  
を真正面から背負ってきた  
多くの卒業生の方々に深甚  
なる敬意を表する次第で  
す。

われわれが歴史を振り返  
ることの意義は、言うまで  
もなく今をよりよく生き、  
明日への展望を拓くために  
過去を新しい目で見ること  
にあります。天王寺高校定  
時制のこの五十年がそれぞ  
れの時代に人生の一時期を  
本校ですごし、喜びも悲し  
みも共有しあつた仲間の汗  
と涙の人生讃歌の一時期で  
あつたことを再認識し、そ  
の経験、体験、実績を新し  
い目で見直し、その中から  
新世紀への新たな決意を  
決心する。ここに五十年を  
迎えたことをお祝いするこ  
との意義があるのだと考え  
ます。

その振込金額は次のよう  
なる。  
●記念式典・祝賀会に参加  
する場合  
参加費八〇〇〇円十年会費  
一二〇〇円九二〇〇円  
●記念式典・祝賀会に参加  
しない場合  
年会費一二〇〇円のみ  
\*ただし、記念事業への寄  
付金をいただける方は、こ  
れに限らず金額の上積みを  
お願いしたい。なお、記念  
式典・祝賀会には出席でき  
ないが、寄付金として参加  
費を振込むという方は、振  
込用紙の通信欄にその旨を  
ご記入いただきたい。

●功労者表彰について  
創立三〇周年(昭和五五年  
度)以降、一五年以上勤務  
した教職員に対して感謝状  
と記念品を贈呈する。

●記念講演について  
記念式典に引き続き記念講  
演を行う。講師は「上方芸  
能」代表・立命館大学教授  
の木津川計氏。

### 記念式典・祝賀会への参加希望者は、 4月25日までに参加費を郵便振込みしよう!

せっかくの記念式典・祝  
賀会だから、一人でも多く  
の同窓生に参加してもらい  
たい。そんな思いを込めて、  
参加費用はギリギリの八〇  
〇〇円に設定した。

このため、参加申込みを  
したにもかかわらず出席し  
ない人が出ると、たちまち  
予算が狂ってくる。そこで  
今回は先に参加費用を振込  
んでもらい、それをもって  
参加申込みとすることに決  
定した。

例年どおり本紙に振込用  
紙を同封しているが、今回

## 創立50周年記念式典・祝賀パーティ開催のお知らせ

日時 平成13年5月20日(日)正午より

会場 天王寺都ホテル本館 TEL.06-6779-1501(代)(天王寺ステーションビルの上)

\* JR天王寺駅西改札口を出て、北西(天王寺公園の斜め向かい側)にあるエレベーターのうち、ガラスの囲いの中にあるエレベーターを利用し、5階で降りる。

参加費 8,000円 \* 同封の振込用紙を利用し、年会費を含め9,200円を振込む。  
参加申し込みは4月25日まで。

### プログラム

● 受付／五階のロビーにおいて11時30分受付開始

● 記念式典／五階の「醍醐の間」において12時開式

一 開式の辞

二 校歌斉唱

三 学校長式辞

四 祝辞／大阪府教育委員会、紅萌会会長、振興会会長

五 永年勤続者表彰／一名

六 記念講演／木津川 計氏

(立命館大学教授)

七 閉式の辞

● 祝賀パーティ／五階の「嵯峨の間」において13時開宴

一 開宴のことば

二 紅萌会会長あいさつ

三 祝辞／前学校長

四 乾杯

五 万歳三唱

六 閉宴のことば

### ● 講師ご紹介

木津川 計氏

1935年生まれ

大阪市立大学社会学科卒業。

1968年、雑誌『上方芸能』を創刊。以来1999年3月まで編集長・発行人をつとめる。

現在は、立命館大学産業社会学部教授。『上方芸能』代表、発行人。

芸術選奨文部大臣賞選考委員、兵庫県川西市生涯学習短期大学学長、NHKラジオ『木津川計のラジオエッセイ』、『ネットワーク関西』コメンテーター

著書に『文化の街へ』(大月書店)／『上方の笑い』(講談社現代新書)／『人間と文化』(岩波書店)

／『〈趣味〉の社会学』(日本経済新聞社)／『大阪の曲がり角』(東方出版)／『生き甲斐のゆくえ』(かもがわ出版)ほか

表彰／京都市芸術功労者賞受賞、京都新聞文化賞受賞、大阪市文化功労市民表彰、第46回菊池寛賞受賞



紅萌会会長 中村 俊之(10期生)

## 創立五十周年を祝して

大阪府立天王寺高等学校  
定時制課程が、創立五十周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

と、たゆみないご指導のたまものと深く感謝する次第でございます。

昭和二十六年四月一日に創立されて以来半世紀、この間幾多の困難もあつたことだろうと思いますが、それら乗り越えてこの輝かしい二十一世紀の幕開きの年に創立五十周年を迎えられましたことは、誠に感慨深い思いがいたしました。

昭和三十年に第一期生が卒業されて以来、今日まで四千名近い人が卒業し、社会の各方面で活躍されておられますことは、誠に喜ばしい限りでございます。

これも歴代校長先生をはじめ諸先生方、関係者の皆様方の並々ならぬご苦勞

三十周年記念事業を開催して早くも二十年の歳月が経過いたしました。この間、紅萌会活動につきまして総会の開催、会報の発行などを行っておりますが、これもひとえに会員皆

1 おもえば遠し 桃蔭の花  
咲きかおる その日より  
明るくひらく 文化の園生  
とわにかわらぬ 心のふるさと  
仰げ若人 ああ 天王寺

私ごとになりますが、私は十期の卒業生ですが、現在でも本心で付き合い何でも話し合えるのは、天王寺高校定時制課程で学んだ友人であります。私はこれらの友人を心の財産として、何時までも親交を温めていきたいと思っております。

## 校歌

2 あふれてやまぬ 城南の  
いずみの水は あめつちに  
ひろがりしみる 真実とえい智  
不朽をほこる われらが校風  
たたえ若人 ああ 天王寺

3 まゆをあぐれば なかぞらに  
むらさきはゆる 生駒山  
希望は高く 世界の風に  
校旗はためく われらがまなびや  
うたえ若人 ああ 天王寺

校歌でも歌われておりますように、母校が心のふるさととして私達をいつまでも、いつまでも温かく迎えてくれることと思っております。

最後にになりましたが母校の更なる繁栄と紅萌会のますますの発展、そして皆様方のご多幸、ご健勝をお祈り申し上げます。創立五十周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

# 友情のページ



昨年いただいた皆様からのお八ガキを紹介いたします。

去年マンションを購入しましたので住所が変更になりました。去年五十歳になりました。これからも心だけは天定時代のように未来を見つめて生きていきたいと思っています。「忘るな原点」

堺市 江口 繁 15

子供も早や高三に(会報が届く頃には大学生? 社会人?) になりました。自分達が学生の頃はいろいろな比較し、昔のことを思い出しては、懐かしい思いにふけています。

金沢市 高田俊文 26  
喜三子 28

今年、創立五十周年記念の年だそうですね。近くに住んでいるたくさん卒業生の皆さんが出席されるよう願うばかりです。ぜひ成功されるよう遠い空の下からお祈りしています。すこし大げさかもしれませんがこの高校を卒業して本当によかったなと、誇りに思う今日この頃です。

佐賀県東松浦郡 前田千代子 25

大学進学して早くも四年生となりました。単位も百二十取り、残り八単位で終わります。来年の五月の総会には卒業していると思います。長引く不況の中で学業、仕事と大変ですがゴールまでもう一歩と頑張っています。皆さんもお元気で!

住吉区 道嶋 稔 43

近畿大学短期大学部二年 在学中  
生野区 藤川桂子 45

私も早いもので来年に定年の予定です。本学は他の国立大学と違い六五歳定年制で、四十年の教員生活に別れを告げる予定(?) がありますが、先のこととはどうなることか……

南河内郡 坪田信道 5

目下、八十歳の主人と九歳のシーズ犬の世話に時間を費やして一日の終わります。皆さん若いうちに頑張

つてくださいます。今日より明日へ!  
残念お名前がございません 41

大阪市を定年退職して四回目の春を迎えました。元氣モリモリで健康運動に携わっております。

松原市 谷本貞子 23

五十周年にはぜひ参加するつもりです。

茨木市 菅原 博 4

定年まであと二年となりました。定年後はJ.R北海道全線を乗りたくて夢を馳せています。

箕面市 塩見健造 旧教職員

今春娘も大学を卒業しました。一人で過ごす時間が多くなり、手芸など趣味を楽しみながら元気に過ごしています。

交野市 植田初世 7

第十三期生の皆さんお元気ですか。私も元気に三十代後半から始めたテニスを毎週欠かさず頑張っています。不景気の続く嫌な昨今ですが、お互いに元氣を出して頑張っていきましょう。

摂津市 水河末弘 13

この秋で六五歳を迎え白髪のお女になりました。天王寺の頃(私も二十代)を皆様の面影とともに懐かしく思い出します。

名張市 佐山和子 旧教職員

クラスメートや先生方のお元氣な様子や近況を知り懐かしく青春真っ盛りの当時を思い出しています。今は介護保険の相談窓口の仕事をしています。式典には同期の米田(旧姓福西)さんと出席させていただきます。

奈良市 田中貞子 5

中本律男先生、大重先生、丸山先生、栢木先生、等々の懐かしい先生のお顔を思い浮かべております。十八期生の皆様お元氣でね。

愛媛県西宇和郡 井上伊津子 18

古村様より連絡していただき、直ぐに住所録と会報を送っていただき有難うございます。今年はお席できませんが、来年の五十周年式典には出席できると思っています。よろしく。

阿倍野区 片山朝吉 7

今年はお席できると思っておりますが、あいにく海外旅行中となり残念です。来年は五十周年記念、大変楽しみにしています。

大和郡山市 北岡 操 4

専業主婦は板につきませんでした。三ヶ月すると友人が「あんた遊んどつたらあかん、私の行っている所に来て!」と言われ、週三

回午前中だけ行っています。自分の遊び代ぐらいい自分で働かないとね。

堺市 吉田千鶴子 14

小生昭和五十年八月、税理士事務所を開業して二五年頑張っております。一度紅萌会に出席したいと思っておりますが五月は、何かと行事予定が重なり出席することが出来ません。

高石市 幸野陸紀 9

昨年入院治療で足腰が立たず、只今専門医の来診を受けりハビリ中です。年会費昨年と今年分、二千四百円お収め下さい。よろしくお願いいたします。皆様によりしく

残念お名前がございません 23

五十周年記念パーティには出席する予定です。

奈良県宇陀郡 宇田道男 4

今年はお席できませんが、来年は記念すべき年でもありますので、ぜひ友人にも声をかけて出席したいです。

平野区 三並真規子 37

会報ご送付有難うございます。楽しく読まして頂いております。子供二人も独立し、娘に七月出産予定で初孫を楽しみにしています。妻と元氣に年金生活にはいつています。

東住吉区 新矢植明 3

春と秋は詩吟の会が多  
く、フリータイムが中々取  
れません。私は三月に府立  
高校を退職し、四月から大  
谷学園大谷高校に勤務して  
います。

橋本市 樋口文嗣  
旧教職員

身近な人が「天王寺高校  
の卒業生である」と、ふと  
したことで知ることが多々  
あります。卒業生のお働き  
を喜んでいきます。

豊中市 出澤 茂  
旧教職員

三一期の島川です。去年  
二月十七日交通事故で左足  
肢を骨折してしまい自宅療  
養中です。皆さんも交通事  
故は他人事と思っていませ  
んか。だれにでも起こりう  
ることです。皆さん気をつ  
けて！

住吉区 島川 博 31

老人になりましたが、ポ  
ランチアでがんばってい  
ます。

生野区 中西志づ 29

自分なりに頑張っていま  
す。日々精進しています。

阿倍野区 田中雄也 46

昭和三五年に卒業しまし  
た。今年で四十年になりま  
す。初めて同窓会に出席さ  
せていただきます。

長崎県西彼杵郡  
梶原文明 6

毎回出席できずすみませ  
ん。三六期生の皆さんお元  
気で過ごしていきましょうか。  
私の方は相変わらず一人で  
自営業、動物達のお世話で  
元気に働いています。今は  
ゴルフに目覚め、休日は  
時々ゴルフ場に出かけてい  
ます。

福岡県大野城市  
松島澄子 33

会報をおくって頂いたと  
き、いつも懐かしく高校の  
ことを思い出します。長男  
十九才(大学生)、長女十  
六才(高校二年生)になり  
ます。

住之江区 小川悦子 22

大阪市水道局に入って早  
や二三年、長女(大学生)  
長男(高校生)もうひと頑  
張りです。二四期生より一  
度集まりませんか

残念お名前がございません 24

目下、家内と一緒にゴル  
フを楽しんでいます。創立  
五十周年ご苦労さんです。  
出来る限り出席します。

松原市 西田庄司 4

若い人たちとスキューバ  
ダイビングを楽しんでいま  
す。創立五十周年式典には  
出席させて頂きます。皆さ  
んの顔を見るのを楽しみに  
しています。

豊中市 山口岩次郎 4

天定創立五十周年という  
事で昭和二六年生れの私も

五十歳のオバサンです。現  
在私の母を中心としたポケ  
とツッコミの毎日を送って  
います。介護保険制度なる  
モノのお助け(?)を受け  
ながら、自分自身の老後  
主人と話し合っています。

西成区 本多佐代子 17

体調をくずしまして遠出  
が出来ない為、参加するこ  
とが出来なく残念に思っ  
ています。

尼崎市 齊藤博子 2

近況といたしましては現  
在太っています。学生時代  
も太っていました。年のせ  
いなのか身重のように重く  
だるさを感じます。年とい  
われれば動作、食べ物、清  
潔さまでも問われるように  
なりがちですが、私は学生  
時代同様(煙草)お酒が好  
きで、食べ物ではお肉が大  
好きです。……と考えれば  
当然「同窓会へ行きたい」  
だのに、身重のように重い  
体が欠席とさせてしまうの  
は何故? (私自身答えを出  
しました) 永年のずぼらな  
性格と、持病の貧血のせい  
ではないのか!家から五百  
メートル周辺を動いている  
だけの私は、鎖につながれ  
た犬のようにも思えるので  
す。肉体は若返らず!

富田林市 奥田ひろみ 17

低血圧のくせに毎朝早く  
(AMS.00) 起きて、サクサ  
ク仕事をしています。自由な  
時間もあるのでストレス解

消にいろいろ遊んだりもし  
ます。やっぱり何か楽しみ  
があるとその為に、ガンバ  
ローって思うし最近ではガ  
ンや、工夫することを知ら  
ない人が増えてますよね。  
つーか皆弱すぎ!などと怒  
っている私に、いまだ春は  
こないのであった。トホホ  
……ああやめよう!こんな  
ウシロムキな考えは。

平野区 辻 祐子 33

天王寺定時制の事務室を  
離れて、天王寺のよさに思  
いをいたしております。紅  
萌会のご活躍、ご発展と記  
念式典の成功をお祈りいた  
します。

奈良県宇陀郡 安田 享  
前事務職

五十周年を控え役員のか  
たがたのご苦労は、並々な  
らぬものがあると存じま  
す。わずかですが別途振込  
みいたします。ご笑納くだ  
さい。

浪速区 山中 晃 前事務長

来年は創立五十周年、記  
念式典等の行事も企画され  
ておられる由、同窓会役員  
諸兄のご尽力に心から敬意  
を表します。同窓会への御  
無沙汰を謝し、溜りに溜ま  
った同窓会費としてお送り  
しますのよろしく。

福島区 中井満晴 3

今年二月九六歳の義父  
(痴呆)を見送りました。  
一方、八五歳の義母ともど

も、やつと落ち着いた日を  
送っています。(忙しい  
日々)

東京都練馬区 大岡弘美 15

現在、大阪市内の病院で  
働いています。九年ぶりに  
同じクラスだった級友に、  
思わぬ形で出会いました。  
皆さんも仕事場の事故など  
十分気をつけてください。  
自分自身は四年前からマラ  
ソンをはじめ、年に七回ほ  
ど大会に出場しています。  
今月は西宮国際ハーフマラ  
ソンに出場します。

平野区 福田貴之 40

大学へ入学した喜びは何  
物にも変えられないうれし  
さでしたが?その後の通  
学、勉強 内容がよく理解  
できず、もううつ病になり  
かけています。高校時代に  
何故もつと真剣にやらなか  
ったのか、いまさら後悔の  
念に毎夜苦しんでいます。  
でも前向きに頑張ります。

平野区 福井博子 併修 2

会報を読むのを楽しみに  
待っています。特に六期生  
のお便りは最初に目が行き  
ます。大変とおもいますが  
何時までも続けてくださ  
い。

東住吉区 赤川美津子 6

中学校教員生活三五年目  
を迎えています。ここ五年  
間は不登校の子供達のケア  
と自立を援助しながら現場  
で多忙な毎日をおくってい

ます。あと一年で定年を迎  
えますので、五十周年の式  
典には参加できるかなと思  
っています。

宇治市 平本喜美代 6

本年三月末に私学女子高  
校を退職して、現在リハビ  
リに励んでおります。脳卒  
中の後遺症である左脚の不  
自由を克服して、他人に迷  
惑をかけない人生を過ごし  
たいものと考えています。

吹田市 三木雅文 元校長

阪神大震災から六年が過  
ぎました。大分元気になり  
ました。風化させてはいけ  
ませんが時間が癒してくれ  
るものがあります。

神戸市灘区 山口淳子 3

数年前からスキー三昧の  
生活です。若いときは経済  
的に無理で、開業してから  
も万一骨折したらと我慢し  
ていましたが、いまは何か  
フツ切れて仕事も忘れ、多  
い週には会社にいる時より  
スキー場にいる日数のほう  
が多いぐらい。

奈良県北葛城郡 河本勇 14

柴田忠男七五歳になりま  
した。

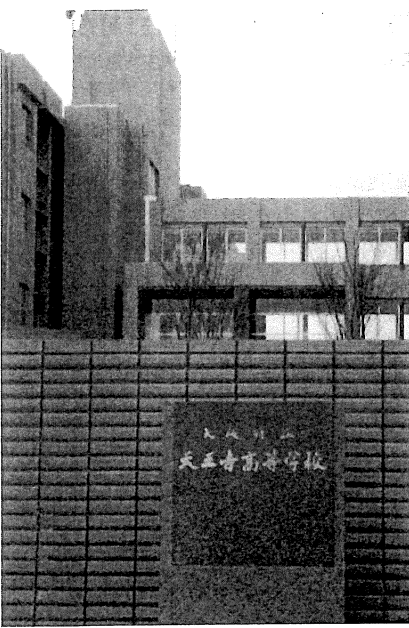
東住吉区 柴田忠男 33

平成十二年四月、大阪府  
立大塚高等学校に転勤にな  
りました。

住吉区 浅井いづみ 20

五十周年記念には参加す





ることを今から楽しみにしておられます。会費わずかです。送金します。

東成区 杉村ルリ子 28

会費の送金が大変遅れまして申し訳ありません。何と封筒を本箱の引き出しにしまい込んでいます。つい先達で他の探し物をしていた時に見つけた次第です。今からでも大丈夫でしょうか。日頃ちよつとしたことが忘れたい思い出せなく、日に日に年齢を感じる今日この頃です。

泉大津市 御代田フサ 7

二人分の年会費十カンパです。

松原市 嵐谷和大 弘美 12

同窓会には他の行事と重なり参加できませんが、遅ればせながら会費納入させて頂きます。塩見先生が担任でしたので、とても懐かしくなりました。出来ればいつかは出席したいと願っています。

ています。

福山市 吉川陸恵 19

日曜日が生憎仕事で勝手ばかりして申し訳ありません。世話役の幹事さんには感謝しております。日常の仕事に追われ会費の支払いもつい忘れて迷惑をお掛け致します。とりあえず十年分振り込みます。

藤井寺市 木林清治郎 11

先日、十期生の同窓会(オリンピックの年に開催)に出席して来ました。橋本先生、山下先生、服部先生、菅野先生方や、旧友達の近況を聞いているうちに、すぐに学生時代に戻りました。来年の紅萌会総会に出席します。

大和高田 木村富士夫 10

昨年、(十一月)十五期生の同窓会が開催されました。丸山敬一先生、鈴木正夫先生も遠方より出席くださり、とても懐かしく楽しいひと時でした。十五期生

の皆さん!! 次回は一人でも多くの方とお目にかかりたいですね。

寝屋川市 大西良明 夏子 15

卒業(昭和四十年)してもう三四年たちましたが、天高定時に通学できた喜びを感じています。まだ一度しか出席したことがありませんが来年こそはと思っています。

和歌山県海南市 寺西君江 11

昭和三十一年卒業、二期生のもので。来年の五十周年の式典には何としても出席したいと思っております。役員の皆様ご苦労様でございます。今後ともよろしく願います。

大和高田市 大池 俊 2

紅萌会会報を郵送していただき、有難うございます。懐かしい卒業生、旧教職員の方々の近況を拝見してしばし思い出にひたるのが楽しみです。

平野区 徳永忠和 旧教職員

足腰を悪くし、歩行不自由につき失礼いたします。上半身は一応元気にしていますのでご休心ください。ご盛会をお祈りしています。

京都府相楽郡 中畔 肇 元校長

病気療養中のため欠席し

ます。総会のご盛会をお祈り申し上げます。

松原市 門馬 勉 旧教職員

振込用紙にも記入しましたがお世話をしてくださる皆様ほんとに大変!!天高卒業生の皆さんがんばっているようで喜んでます。

出雲市 安部守子 1

いつもお世話ありがとうございます。しばらく参加していませんので行かせて頂きます。来年はもう予定が入っているのいけないの……です。

平野区 坂田一枝 6

当日は公務があり欠席します。

阪南市 千田耕作 10

左記へ引越しました。(新住所)

泉佐野市 本城正勝 10

出席できなくて申し訳なく思っております。今年も四年に一度の同期会が十月に行われます。(第二回)一回目は恩師(橋本先生、山下先生)お二人に出席頂き総勢四十名を超える大盛況でありました。今年も同期の人たちひとりでも多く会えることを楽しみに毎日頑張っております。

愛媛県松山市 山岡義行 10

体調が優れなく通院しております。今回は残念なが

ら失礼します。

千葉県船橋市 斉藤絃一 10

今年も出席できませんが先生方にも宜しくお伝えください。

横浜市保土ヶ谷区 生駒雄子 13

いつも連絡ありがとうございます。当日は田舎のほうへ行くので出席できません。

城東区 吉田泰子 16

いつも色々とお世話様になり誠に有難うございます。色々用事があつたりして、紅萌会には参加できませんが今後とも宜しくお願ひいたします。皆様のご健康ご多幸ご活躍をお祈り致します。

羽曳野市 岡村まゆみ 18

いつもお世話頂きありがとうございます。二年ほど以前(?)より名前が誤っております。小田「寛代美」ではなく「孝子」です。修正お願ひします。(申し訳ありません、確かに訂正いたしました)

奈良県北葛城郡 小田孝子 23

只今、私は日本女子大学(通信教育)の学生なので。五月二十一日が試験の日となつております。総会の日と重なりますので欠席させていただきます。

阿倍野区 橋本妙子 23

いつも会報を送って頂き

有難うございます。

八尾市 水越恵子 24

出席させて頂きます。母と二人で行きますので宜しくお願ひいたします。残念お名前がございません

紅萌会いつも送って頂き有難う。今年仕事があつても行くつもりだが、時間がうまく行くかあ、

堺市 天草静雄 27

東先生お元気ですか、校長先生お変わりありませんか、谷奥先生お会いしたいです。

東住吉区 大塚柳子 27

参加できず申し訳ございません。子供の行事のためこれからも宜しくお願ひいたします。

奈良県生駒郡 関田光子 36

仕事で忙しいため行けなくてすみません。毎日元気に仕事にいらつています。阿倍野区 松本佳子 43

ご盛会を念じます。枚方市 市川速男 元校長

三十年以上ぶりでメーデーに参加しました。失業率四・九%だと絶叫する壇上を余所に、一本五百円の缶ビールの屋台が並んでおり、世の中どうなつておるの?とびつくりしました。八王子市南大沢 澤井 章 旧教職員

## 2000年4月24日～今日までに入金された 会費(1200円)と寄付

### 《郵便振替による年会費納入者一敬称略》

小川明彦(37) 中山義雄(3) 塩見健造(特) 勝間秀吉(39) 中島成和(30)  
今中啓旦(特) 喜多俊子(13) 安本貴子(36) 岩佐勝己(14) 梁福守(45)  
塗廣廣子(13) 平野鈴江(2) 安部守子(1) 島豪克(30) 三井郁子(13)  
大池俊(2) 稲葉貞夫(18) 上村千寿子(13) 高橋孝弘(1) 宇田道男(4)  
大武健一(40) 小川悦子(22) 梶原文明(6) 岡本君子(41) 赤川寛(5)  
久恵(4) 山岡博(2) 塩野光子(10) 大林一子(13) 犬飼喜信(2) 服部  
敬(特) 樋口文嗣(特) 相馬みどり(13) 鈴木恵三(10) 大川忠司(5)  
孝子(7) 武田篤彦(特) 市川速男(特) 藤田卷子(41) 鈴木正夫(特)  
藤本辰男(24) 北岡操(4) 方貞淑(36) 小林明美(3) 大岡弘美(15)  
橋本妙子(23) 山岡義行(10) 島川博(31) 門馬勉(特) 西田庄司(4)  
有吉喜八郎(5) 中野八重子(2) 井上伊津子(18) 川沼文俊(1) 丸木  
金勝(10) 赤川美津子(6) 牛丸剛・寿美子(1) 尾形初子(15) 本多佐  
和子(17) 池崎照子(33) 清水賢二(18) 油谷勝次(4) 水河末弘(13)  
中田嘉子(特) 岩本悦彦(10) 幸野陸紀(9) 前田千代子(25) 小原英伸  
(33) 聡子(36) 北村昭子(18) 安田寿夫(3) 山口岩次郎(4) 佐藤陽  
二(特) 森本登茂子(16) 野口キクノ(23) 新矢植明(3) 国政恵三(特)  
篠原ヒロミ(3) 菅原博(4) 田中雄也(45) 小林鉄子(7) 文愛子(36)  
関田光子(36) 本城正勝(10) 小川加代子(33) 植田初世(7) 吉田泰子  
(16) 中西志づ(29) 品川博文(13) 斉藤博子(2) 指野雅昭(42) 南本  
良子(23) 平岡朱美(15) 石橋清子(31) 横山憲子(13) 浦崎信子(18)  
木下美佐子(14) 吉田美智子(43) 澤井章(特) 伊藤清美(10) 山口淳子  
(3) 多田寿枝(32) 佐藤博子(44) 李明玉(併2) 薮下権千代(1) 辰巳  
一夫(28) 杉村ルリ子(28) 鳥袋征士(11) 畑山法俊(13) 徳永忠和(特)  
林清太郎(11) 池本友子(8) 山中晃(特) 松島澄子(33) 生駒雄子(13)  
吉田耕治(4) 安田享(特) 仁枝洋(9) 剣物博美(7) 片山朝吉(7)  
岡崎しのぶ(18) 西川忠(4) 深田敦夫(49) 福富美沙子(7) 巳本稔(10)  
石川輝子(32) 大西良明・夏子(15) 岩井孝子(45) 志村哲郎・美幸(16)  
米光敏子(36) 大江道子(14) 柴田忠男(33) 高田俊文(26)・喜三子(28)  
堀内春男(22) 寺西君江(11) 長岡幸男(4) 福井博子(併2) 新部義夫  
(24) 御代田フサ(7) 吉田千鶴子(14) 薦田千鶴子(13) 嵐谷和大・弘  
美(12) 木村富士夫(10) 浅井いづみ(20) 中井満晴(3) 田中貞子(5)  
斉藤允子(20) 谷本貞子(23) 坂田一枝(6) 北村みち子(17)

2001年2月28日現在

### 第46回総会(2000年5月21日(日))参加者名簿

犬飼善信(2) 松浦和夫(旧職員) 内田健三(5) 坂本篤夫(5) 坂田一  
枝(6) 梶原文明(6) 古村成正(7) 中村俊之(10) 西村唯弘(12) 脇  
豊茂(16) 稲葉貞夫(18) 森本敏夫(24) 細川君枝(27) 竹内正子(39)  
白岩敏(40)

第46期生(新卒) 韓貞順、勢渡七重、田中未来、梁福守、東中川千歳、福  
井、李明玉、陳金栄、山下剛司、橋本賢、円藤大介、高山武秀、井上暁夫、  
武内三由、川村、川添、田中、佐武、西尾、井上義幸、小林紀子、高橋伸  
子、石橋美奈子

★ 会報が届く頃、皆様方  
の地方は桜が満開でしょう  
か。新緑、バラの花が美し  
い季節、五月二十日お会い  
できることを楽しみにして  
おります。(役員、編集子)

★ 創立五十周年記念式典  
拡大理事会の召集に、卒業  
後何年振りかで学校を訪れ  
驚きました。校門がわから  
ない?そうです。大方の卒  
業生はひと回りして校門を  
見つけます。

★ 朝日新聞・平成一三年二  
月二七日(三)四期の卒業生  
です。謹んでご冥福をお祈  
り申し上げます。

田 亦聖氏(でん・い  
せい) 囲碁棋士、日本棋院  
四段) 25日午後6時46分、  
肺がんで死去、34歳。葬儀  
・告別式は27日午前11時か  
ら大阪府堺市深井水池町3  
167の泉北仏光殿で。喪  
主は妻京子(きょうこ)さ  
ん。自宅は堺市浜寺公園町  
1の33の11。

## 大阪府立天王寺高等学校定時制課程同窓会「紅葩会」 第46回総会会計決算報告(2000年5月21日(日)天王寺高等学校)

収入	前年度繰り越し残高	1,235,706円
	総会当日会費(寄付含む)	75,000円
	卒業生会費	30,000円
	年会費・寄付(郵便振替分)	690,000円
	第12期より寄付	10,000円
	学校からの補助金(会報郵送代)	160,000円
	預金利息	249円
	合計	2,200,955円
支出	総会懇親会食事代	94,500円
	総会懇親会飲み物代	32,000円
	会報印刷費	340,000円
	会報郵送代	160,000円
	会議費	44,750円
	事務費(文具等)	10,572円
	通信費	12,950円
	合計	694,772円

収入 2,200,955円-支出 694,772円=1,506,183円  
1,506,183円は次年度予算に繰り越し

繰り越し金の管理状況	定期預金Ⅰ	400,000円
	定期預金Ⅱ	200,000円
	普通預金	906,183円
	現金	0円

### 2001年度(第47回総会・50周年記念式典)予算(案)

収入	前年度繰り越し残高	1,506,183円
	卒業生会費	30,000円
	学校からの補助金(会報郵送代)	160,000円
	年会費(郵便振替)	400,000円
	雑収入	3,817円
	合計	2,100,000円
支出	50周年記念式典及び祝賀会経費 (当日会費、祝賀会経費、会場費、 講師謝礼、記念品料、会報印刷費、 会報郵送料等)	1,900,000円
	諸会議費(通信費)	50,000円
	事務費	10,000円
	通信費	10,000円
	予備費	100,000円
	合計	2,070,000円

収入 2,100,000円-支出 2,070,000円=30,000円

## 新たに二百名の 消息が判明

懸案の卒業生名簿  
作成はパソコンに入  
力しました。名簿は  
十分なものではあり  
ませんが、一応整い、  
今後の調査、整理に  
も迅速に対応でき  
ると思えます。

★ あれ!!主人の名前が無  
いやん。お名前の欠落して  
いる方、字の間違い(棚  
が柵など)、苗字・名前の  
読み違いなどご指摘いた  
だきました。

## 編集後記

最新の名簿を提供して  
くださった方、一人ひとりに  
電話して再度の確認や不明  
者の調査依頼をしてくださ  
った方、多くの卒業生のご  
協力を得ました。調査は引  
き続き行っております。こ  
の作業中次の新聞記事に接  
しました。

# 50周年記念特集

## 「天定」50年のあゆみ

●1951～1954 (昭和26～29年)

裸電球がぶら下がった薄暗い教室に、すきつ腹をかかえた若者たちが集まった。

昭和二六年四月、「大阪府立天王寺高等学校定時制課程普通科」が誕生した。四年間の必修科目数は三八単位で選択科目数が五八単位。生徒定員は二クラス・一〇〇名で、専任教員三名・講師五名という陣容でのスタートであった。

三月にGHQ(連合軍最高司令部)のマッカーサー司令官が解任され、九月には対日講和条約および日米安全保障条約が調印されて、日本が占領国から晴れて独立国へのパスポートを手に入れた歴史的な年でもある。

しかし、時代はまだまだ「戦後」の延長線上にあった。給食とは名ばかり、ララ物資による脱脂粉乳が校務員室でミルク化され、生徒のひもじい腹をなくさめるだけであった。一期生の赤壁光郎氏は、三〇周年記念誌への投稿で次のように述べておられる(一部抜粋)。

「開校当時は、まだ食べる物も十分ではなく、米を持参のうえ食堂に預けておいて、夕食のカレーライスにありついた記憶があり、現在とは比較すべくもない戦後の続きの時代でした」

また、翌二七年一月に着任された谷奥靖子先生も、同じく三〇周年記念誌に次のような投稿を寄せられている(一部抜粋)。

「教室は窓ガラスも所々割れ、照明も教室を始め職員室、体育館、運動場もお粗末なものであった。そのうえ停電がよくあり、ローソクを持って走った事も今では懐かしい」

二期生から一学年の定員が一五〇名となった。生徒数が増えるにもなつて校内にも活気がみなぎりはじめ、四学年そろった昭和二九年には生徒定員五五〇名、専任教員一三名と着実に大きく育っていった。

\*昭和二六年 四月：校長／清水治郎

(夕陽丘高校長兼務)

主事／奥島保三

\*昭和二七年 四月：校長／後藤安久

\*昭和二七年一月：主事／池本左賀介

●1955～1958 (昭和30～33年)

第一期生の卒業で同窓会がスタートし、天定生待望の完全給食が開始された。

昭和三〇年二月二六日、創立後初の卒業式が挙行され、六一名の第一期生が巣立っていった。同時にここから同窓会の歴史が始まる。翌三一年、第二期生を加えて一五〇名となった同窓会は、一期生の牛丸剛・赤壁光郎・油井八千代の各氏、二期生の赤木耀介氏が役員・世話役となつて活動を開始した。

一方、昭和三〇年四月、第五期生を迎えた学校は生徒定員六〇〇名・四学年三学級編成が完了。専任教員も一四名となり、以後八年間はこの体制が続くことになる。ただ、校務分掌がたびたび変更されるなど、学校組織はまだまだ試行錯誤の段階にあった。

翌三一年、生徒会・文化部・体育部の三部門制でクラブ活動が開始。また、定時制専用図書五八三冊が設置され、以後年を追って充実されていくことになる。

三三年九月には、パン・ミルク・副食からなる待望の完全給食が実施された。一食四〇円で非常勤栄養士一名・調理師二名も配置され、空腹からやや解放されることになった。

目を政界に転じると、三〇年一〇月に右派・左派社会党が統一、一一月には民主・自由両党が合同して自由民主党が発足し、いわゆる「五五年体制」が確立された。三一年七月、政府は経済白書で「もはや戦後ではない」と発表、一二月には国連加盟が承認されて、日本もようやく自立できるまでに復興した。

●1959～1962 (昭和34～37年)

勤評・警職法・安保の反対運動に、生徒会も巻き込まれて大荒れの日が続く。

この当時の同窓会の役員・世話役は、会長が三期生の小西辰朗氏で、以下四期生の石田博之・坂根武夫・芝田作寿の各氏を選出されている。なお昭和三六年には、小西辰朗氏に代わって石田博之氏が会長に着任した。

この数年間は天定史上最大の激動期となった。昭和三三年一〇月、教職員勤務評定規則の公布と警職法改正案

の国会提出が相次ぎ、三四年三月には安保改定阻止国民会議が結成されて、全国規模の反対闘争に発展。その余波が学校にも押し寄せ、三四年から三五年前半にかけては落ち着いて授業が受けられないような日々が続いた。

そうしたなか、三四年四月に生徒会会則が成立・施行され、全定連絡協議会がスタート。翌年八月には、教職員組合の支援を受けて生徒会連合結成運動が起り、やがて大定連が結成されるなど、生徒会の政治運動はピークに達したが、それも三五年後半からしだいに鎮静化していった。

その一方で、学校の施設・制度は着々と整備されている。三六年四月に「大阪府立天王寺高等学校学則」が制定され、翌年四月には栄養士が定数化されるとともに、パン・ミルクの無償給付制度がスタート。また一月になると教室内の照明が、それまでの電球から蛍光灯に改善された。

社会に目を転じると、三五年一月に貿易・為替自由化の基本方針が決定され、九月には池田内閣が高度成長・所得倍増政策を発表。三七年一〇月には全国総合開発計画が発表されるなど、日本経済は本格的な高度経済成長時代へと突入していった。また、ダッコちゃん人形や歌声喫茶が大流行したのも三五年から三六年にかけてのことである。

### ●1963～1966（昭和38～41年）

一〇期で卒業生が一〇〇〇名を突破し、  
生徒定員も八〇〇名とますます充実。

昭和三八年年度から一学年四学級体制となり、生徒定員も年々五〇名ずつ増加。四一年度には定員八〇〇名体制が完了、専任教員も二三名と大幅に増えている。また、三九年二月に一〇期生を送り出し、卒業生総数は一〇〇〇名を突破した。三八年度からは新指導要領による改訂教育課程が実施され、四一年七月には第2職員室の設置と生徒図書に移転が行われている。

一方、同窓会は四一年度から会長に雀部倉平氏、副会長に志賀芳弘氏（いづれも六期）を選出、芝田作寿氏（四期）と伊藤秀広氏（六期）が世話役を務めている。この時期の話題と云えば、何といっても三九年一〇月

に開催された東京オリンピックと、これに合わせて建設された名神高速道路や東海道新幹線の開通である。こうした大事業を背景として、三八年八月には貿易自由化率が九二%を超え、三九年四月には日本がIFM八条国に移行するとともに、OECDに正式加盟するなど、経済的にもいよいよ世界の仲間入りを果たすようになった。

なお、三九年度は中卒者の求人倍率が約五倍に達し「金のタマゴ」と呼ばれる一方、四〇年度には全国の高校進学率が七〇%を超え、大学生総数が一〇〇万人を突破。そして四一年三月には日本の人口が一億人を突破している。

\*昭和三八年四月・校長／坪井 明

### ●1967～1970（昭和42年～45年）

学校施設が飛躍的に改善されるなか、  
創立二〇周年記念式典を盛大に挙行。

昭和四二年三月に運動場照明を改善、七月には新プールが完成。四三年一月には自習室の設置と生徒図書の移動。四四年四月には定時制専用図書室が設置され司書を配置。四五年六月には校内放送設備が完成するなど、この時期の学校施設の充実が目を見はるものがあった。

施設面ばかりでなく、給食の水道光熱費が府の負担となり、府費増額によって生徒負担の軽減が実現し、給食の脱脂粉乳が生牛乳になるなど、さまざまな面で改善が図られた。さらに、一学級五〇名だった生徒定員の減数が実現。まず四三年度は四六名に、四四年度は四四名に、四五年度は四二名にと減少していった。

昭和四四年春、同窓会では創立二〇周年記念準備委員会を設置。翌年一〇月にまず初の同窓会名簿を発行し、翌月一月一五日、阿倍野区民ホールにおいて創立二〇周年記念式典を挙行、同時に二〇周年記念誌を発行した。

一方、昭和三三年以降一〇年間の工業生産伸び率が世界一を記録した日本は、GNPでも世界第二位の経済大国となり、いつしか海外から「エコノミックアニマル」と呼ばれるようになっていた。こうした経済力を背景に四五年三月、大阪の千里丘陵で日本万国博覧会が開催され、世界七七カ国が出展参加し、入場者数六四二万人という成果をおさめている。本校でも六月二八日、八名

の教員に引率されて一四八名の生徒が万博見学を行った。

\*昭和四二年四月・校長／中畔 肇

\*昭和四四年五月・校長／竹谷 新

\*昭和四五年四月・主事／加藤銀四郎

### ●1971～1974（昭和46～49年）

一学級四〇名・定員六四〇名体制が完了、  
一九期で卒業生が二〇〇名を突破。

昭和四六年度から一学級の生徒定員が四〇名となり、四九年度にいたって全校定員六四〇名体制が完了した。また、四八年度から新指導要領による教育課程が実施されている。

ちよっぴり痛かったのは給食費の値上げで、四七年度からそれまでの一食四〇円が六〇円へ五〇%アップされた。その見返りか、四九年度から給食のデザートが無償給付されるようになり、翌五〇年度からは米飯への補助が出るようになった。

前年に創立二〇周年を終えた同窓会は、四六年度に上杉明氏（七期）を会長に選出し、新たな一歩を踏み出した。しかし四八年二月に第一九期生を送り出し、卒業生が二〇〇名を超えた同窓会運営はますます難しくなっていた。

この間、わが国経済は激動の時代に突入する。まず四六年八月、アメリカのドル防衛策にともなうドルショックによって、わが国の平均株価が史上最大の大暴落を記録。また、対ドルレートが変動為替相場制へ移行し、年末には従来の一ドル三六〇円が一七%アップの三〇八円に切り上げられた。そして四八年一〇月の第四次中東戦争勃発を契機に、いわゆる第一次オイルショックに見舞われた。これが狂乱物価を招き、四九年一月の消費者物価指数が前年同月比二〇・四パーセント上昇するなど、国民生活に大きな影響を及ぼした。

\*昭和四九年一月・教頭／小林孝久

## ●1975～1978 (昭和50～53年)

各卒業期の代表による理事会をスタート、同窓会名を「紅萌会」とすることを決定。

昭和五一年九月、前年来建設が進められてきた新体育館が完成した。一階が食堂と柔剣道場で二階が体育館、最近の同窓会総会の会場でおなじみの建物である。そして翌五二年、府立高校に初めてコンピュータが配置されるようになり、施設の近代化が目に見えて進んでいった。同窓会もまた、五三年にいたって一大転換を遂げることになる。三年後に天定創立三〇周年を控え、沈滞している同窓会活動を活性化しようと、ナンバの大自然に約三〇名の有志が集まったのが発端。各期の代表者によって理事会を構成し、月に一度のペースで理事会を開いて今後の方針を協議することを決定した。

七月一日の第二回理事会で、坪田信道会長（五期）をはじめ副会長二名・会計四名からなる役員会、坂本篤夫理事長（五期）をはじめ九名の理事からなる理事会を発足した。九月二日の第四回理事会では、中西建築委員長（九期）をはじめ五名の委員からなる三〇周年記念事業委員会をスタート、全同窓会員を対象に記念事業費の募金活動を開始した。さらに一二月二日の第七回拡大理事会で、同窓会名を「紅萌会」とすることを決定している。こうした活発な同窓会の動きとは裏腹に、オイルショック後の経済不況と狂乱物価で社会は沈滞。人員整理、レイオフ、採用内定取り消しを行う企業が相次ぎ、五〇年の年末には遂に完全失業者が一〇〇万人を突破するにいたった。そんななかで為替相場は天井知らずの円高が続ぎ、五三年一〇月には一ドル一六八円にまで達した。

\*昭和五〇年四月・校長／明石立身  
\*昭和五三年四月・教頭／秋山計義

## ●1979～1983 (昭和54～58年)

創立三〇周年記念式典を華々しく開催、記念誌「青春30年のあゆみ」も発行。

昭和五四年四月、旧柔道場跡に定時制職員室が完成、過去一三年間にわたって第一・第二職員室に分かれていた不便さが解消された。また、玄関脇に別館が竣工し書

道・美術教室がオープン。さらに視聴覚教室・理科準備室・薬品室の移転も行われている。

従来、日曜日に行われてきた体育祭が、五五年度から平日の二日間で開催されるようになった。また、五七年度には新指導要領による教育課程が実施され、クラブ活動も必修クラブと部活動（体育部・文化部）それぞれが活動を開始した。

紅萌会は五四年四月一五日、念願の「紅萌会会報」第一号を発行し、全同窓会員への発送を開始した。その製作・発送費用の大半は、事業経営を行っている同窓会員の広告掲載によってまかされた。また、五月一日に行った第二五回同窓会総会において、毎年五月の第二日曜日に総会を開催することを決定している。

翌五五年一月一八日、新体育館において天定創立三〇周年記念式典を開催した。席上、同窓会から学校に対して記念品（視聴覚教材）目録を贈るとともに、永年勤続の教職員に対して感謝状と記念品を贈呈した。

翌五六年五月一日、進行が遅れていた三〇周年記念誌「青春30年のあゆみ」がようやく完成した。そしてこの日に開催した第二七回同窓会総会において役員改選を行い、会長に中村俊之氏（二〇期）、副会長に稲葉貞夫氏（一八期）と小倉明子氏（一〇期）を選出、理事長には坂本篤夫氏が留任した。

昭和五〇年代は、日本の産業構造が「重厚長大」から「軽薄短小」へと大きく転換した時代である。五四年一月には第二次オイルショックに見舞われ、その後もアメリカやECから強く市場開放を迫られるなど、依然として経済環境は厳しいものがあつたが、ハイテク関連を中心に新たな経済成長路線を進み始めた。

\*昭和五六年四月・校長／市川速男  
\*昭和五七年四月・教頭／浜口秀三

## ●1984～1988 (昭和59～63年)

懸案の同窓会名簿を発行した翌年、三二期で卒業生が三〇〇〇名を突破。

学校施設は飛躍的に充実し、教育課程もまた時代に即して改善されてきたが、その一方で生徒の素行に問題が目立ちはじめた。たとえば校内での喫煙やバイク通学が

それであり、昭和六一年二月、校内における喫煙が全面禁止される措置がとられた。また六二年度からは外出許可証が発行され、登校後の無断外出を禁止する指導が行われるようになった。

こうした時代背景のもと、在校生の雇用者および保護者による後援会組織として、六二年度から「大阪府立天王寺高等学校定時制の課程振興会」がスタートした。

なお、情報化社会の進展にもなつて、コンピュータ教育の必要性が次第に高まっていくなか、六三年六月からコンピュータ初心者講座が開かれるようになった。また、この年から三年生修学旅行が実施されている。

紅萌会では、創立三〇周年に向けて同窓会名簿の制作に取り組んできたが、住所不明者があまりにも多いことに加えて資金不足が重なり、大幅に発行が遅れていた。第三一期生までを記載した名簿がようやく完成したのは、六〇年五月のことである。この翌年、第三二期生が卒業してその総数は三〇〇〇名を突破、一期生以来の年齢差も大きく広がり、紅萌会運営はますます多難になっていった。なお、五九年の第三〇回紅萌会総会から、開催日を五月の第三日曜日に変更している。

この時代の話題とえば、まず急激な円高の進行がある。六〇年九月、G5で円高が是認されたのを受けて一ドル二一六・五円に急騰、さらに六一年八月には一五二円台に、六二年二月には一二二円台にと、まさに天井知らずになつていった。

また、バブル経済へと一直線に突っ走っていった時代でもある。六二年一月、東証平均株価が史上初の二万円台をつけた後も上昇の一途をたどり、六三年一月には遂に三万円を突破する事態になった。地価も同様で、六二年から目立って上りはじめ、六三年には地上げ屋が横行する騒ぎとなった。

\*昭和六〇年四月・校長／松尾闡昭  
\*昭和六二年四月・教頭／福井鉦治

## ●1989～1993 (平成元～5年)

校舎の全面的な建て替えが行われ、一年の歳月をかけて平成四年秋に竣工。

老朽化した校舎の建て替え計画は以前から進められて



きたが、平成元年四月に校舎改築委員が選出され、いよいよ実現に向けて走り出した。建設は三年一月に始まり、四年一〇月三十一日に近代的設備を施した新校舎が竣工した。新校舎での授業は五年度から開始されたが、これに先立つ三月六日、旧校舎講堂での最後の卒業式（第三九期）が行われた。この期を送り出し、卒業生総数は三五〇〇名を突破するにいったった。

一方、紅萌会も「平成の改革」とでもいふべき新方針を打ち出した。同窓会発足以来、運営費用はすべて在校生が納める同窓会費に頼ってきた。しかし、昭和五五年四月に「紅萌会会報」を創刊して以来、年間三〇万円以上の出費が続き、財政は慢性的な赤字体質に陥っていた。これを打破するため、昭和六三年の役員・理事会において協議の結果、紅萌会員全員を対象とする会費制を導入することにしたのである。会費は年間二二〇〇円とし、主として郵便振込みで徴収することにした。以来、今日にいたるまで、紅萌会運営はこの会費を中心に維持されている。

時代は平成へと変わったが、その元年はバブル経済絶頂期となった。土地も、株式も、美術品やゴルフ会員権さえも、とにかく投機の対象となるものはすべて高騰し続け、年末には東証平均株価が三万八九一六円という空前の高値をつけるにいったった。そして翌二年、年明けから株価は下がり続け、一〇月には二万二二二円とピーク時に比べて実に四八%もの大幅下落を記録。こうしてバブルは文字どおり泡と消え去っていった。

二年一〇月、東西ドイツ統一。三年一月、湾岸戦争勃発。三年一二月、ソ連解体。四年四月、ユーゴスラビア・ボスニア内戦……世紀末に向けて、世界情勢もまた激動の時代へと突入していった。

- \*平成元年四月…校長／三木雅文
- \*平成三年四月…教頭／林 一雄
- \*平成五年四月…校長／野村公信

### ●1994～2000（平成6～12年）

定通併修制が導入される一方で、生徒定員は二八〇名に大幅減少。

応募者数の減少にともなって、平成五年度から生徒定

員の削減が始まった。まず五年度は従来の六四〇名から六〇〇名に減ったのを皮切りに六年度五二〇名、八年度三六〇名、そして一一年度には遂に二八〇名にまで減少している。

一方、八年度から定時制と通信制が併修できる、いわゆる「定通併修制」が導入され、四年生と定通併修三年の混合クラス編成が行われるようになった。同時に聴講制度（情報処理／四年・書道／一～二年生）も導入されている。一一年三月七日には、四年生および通信併修合同の初の卒業式が行われた。なお、一二年三月に第四六期生を送り出し、卒業生総数は三八四一名を数えている。九年度には入試選抜方法が変更され、満二二歳以上の志願者に対しては学力検査（国語・数学・英語）のみ、または作文と面接による選抜、という選択ができる特別措置が設定された。

天定創立五〇周年を三年後に控えた一〇年、学校・紅萌会それぞれに記念事業への準備を開始した。以来、お互いに協議を重ねつつ準備を進めてきたが、一二年六月、学校長を会長に、紅萌会会長と振興会会長を副会長に、教頭を実行委員長とする「創立五〇周年事業実行委員会」を正式に発足。一三年五月二〇日、天王寺都ホテル本館において記念式典および祝賀会を開催すること、記念誌（紅萌会会報拡大版）を発行することなど、記念事業の大綱を決定した。

バブル経済崩壊以降、日本列島はすつぱりと長期不況に覆われ、今なお先が見えない状況に置かれている。これに追い討ちをかけるかのように、七年一月一七日の悪夢のような神戸淡路大震災をはじめ、次々と地震・火山噴火などの天災に見舞われ、重苦しい気持ちを抱いたままミレニアムを迎える結果となった。

明けて二一世紀、奇しくもわが天定創立五〇周年の節目と重なった。多くの参加を得て記念式典および祝賀会を盛大に祝うとともに、この新世紀が希望に満ちた時代になるよう願いたいものである。

- \*平成 六年四月…校長／小川修一
- \*平成 八年四月…教頭／森部幸人
- \*平成 九年四月…校長／松田孝一
- \*平成一一年四月…教頭／植田 武

### 12年度卒業式送辞、答辞より

## 心に残ることば

みなさまがこの天王寺高等学校校定時制課程に入学したとき、どのようなことを考えていたでしょうか。

自分なりの目標をもって、学校生活をはじめたに違いありません。残念なことにそれが達成できずに、途中で学校を去っていった仲間もいました。しかし卒業生のみなさまは、いろんな困難、さまざまな誘惑に打ち勝って今日の喜びを手に入れることができました。大変立派なことだと思います。（略）

私から卒業生に一つの言葉を贈ります。

「自分のことを大切にできない人は、他人に親切ができない人です」といわれます。

自分を大切に、そして新たな人生に挑戦して下下さい。

在校生を代表して 岩本英男

私達の中には、入学当時学校生活に不安だった人も少なくありません。友達ができるか、仕事との両立はやっていけるのか、しかしそんな不安もしだいに消えていっていききました。

私達は改めて友達の大切さを知りました。悩みがある人と相談のつてくれたり、気の重いテストの後に、一緒にごはんを食べに行ったりできる友達がいたから、不安も消え卒業を迎えられたと思います。（略）

時には学校を休んでしまったり、残業で遅刻をしてしまったり、仕事上の悩みでストレスがたまり先生にあたってしまった事もありました。仕事を通じて少しは社会を知ることができました。

そして、人と人とのつながり、人を想いやるという事を知りました。

卒業生を代表して 藤山聖恵

# 思い出の天定時代

未だに!! 「尾瀬沼」への熱い思い

薦田 千鶴子 13期生 (大阪市住吉区)

同期の名簿作りを口実に、学生時代の親しかった友人と会うようになり、和服で京都に出かけたり、何名かで青春切符を活用して、長浜、城崎、倉敷などミニ旅行を楽しんでいます。話題はもっぱら親の介護などが多く、自由に動けるうちにと遊んでいる私達です。

在学時代の話題では、勉強しなかった反省より、仲間との思い出、お世話になった懐かしい先生方のこと、そして十三期の女生徒には「尾瀬沼」への熱い思いが未だに残っています。

昭和三十八年入学以来、仕事も続けておりますが一番の悩みは肥満で、休日や夜にはPTA関係で卓球、陶芸、職場仲間とはコーラス、ダンスなどダイエットを兼ねてガンバッテいます。老人ボケの予防にとピアノにもチャレンジを始めました。

そろそろ同期会について考えています。薦田までご一報を!!  
総会でお会いできるのを楽しみに。

私が天高(定)を選んだわけ

松島 澄子 33期生 (福岡県大野城市)

私、現在〇〇才ですが二十一才のとき、定時制高校に行きたいと思いはじめました。たまたま病院に勤めていたしたので、まずは看護婦の資格から先に取るう、そして

殆どの方が十五才で高校に進学する三年間の道程を私も歩いてみたいと考えるようになりました。看護婦は知人の紹介でなった職業なので、高校生活を送る中で、本当に自分がやりたい仕事はなにか?を探してみようと真剣に思いました。

とは言っても資格一直線で看護婦の資格を取り終えたのが三十一才、それから高校へ行くと「ワ〜もう三十五才になっちゃう、どうしようか……」と思っているうちに二年を費やし、三十三才の時受付ぎりぎりまで悩んだ上、「やっぱり行こう」とバタバタ出かけて行き受付したことを思い出します。

思い切つて入学したお蔭で素敵な友達と巡り会うことができ、とても楽しい思い出がたくさん出来ました。授業中いつも笑いが絶えなかったことを思い出します。給食も美味しかったし、仕事が終わって学校へ行くのがとても楽しみでした。

職業について探していた空白の気持ちも納得したものに、とても意義のある四年間でした。諸先生、級友の皆様どうもありがとうございました。いつか同期会でお会いする日を楽しみにしています。

今思うこと

森本 登茂子 16期生 (大阪市平野区)

天高定時制過程を卒業してもう三十年経つのですね。当時は三才年下の人たちと机を並べ勉強が大変だったのにもかかわらず、なぜか嬉しかったことを思い出します。夜勤も週に四日こなしながらも、いきいきと生活してい

ました。何が嬉しかったのか、若い人と同じように話をしたりふざけたり、遠足、運動会、文化祭どれも楽しい思い出です。

でも一年生時代、自律神経失調症を患い谷奥先生には多大なご迷惑をお掛けしましたことをお詫びいたします。

思い出すことは、四年間の有意義な時間だったことでしょう。これまでどんな困難にも打ち勝つてこれたのも、この四年間に培われたたまものと思っております。

家族・多くの人たちに支えられて

藤本 周子 13期生 (大阪市平野区)

在学当時を思い出すと、今は亡き両親の姿が浮かんできます。下校時に父は自転車で、また母は十二歳年下の弟を乳母車に乗せて迎えに来てくれたものです。家族、職場、恩師、クラスメート周囲の人たちに支えられて四年間通学できたといつも思っています。

私は二年前、リュウマチでからだの不自由な姑さんと同居のため二十八年間住み慣れた家を引っ越しましたが、幸い校区内で家族六人が住める家を探すことができ身内のように親しくしていた友人も今までどおり尋ねてくれ喜んでます。それに引越しを機会に十三期の友人とも何年振りかで再会し以来たびたび会うことが出来るようになり、会えばあの頃に帰って昔話に花が咲いたり、スタートしたばかりの介護保険制度について真剣に話をしたりしています。

また、昨年の夏は弟妹ファミリー総勢二十名が母の故郷能登半島へ遊びに行くことができ、母と生前約束していたことが実行できて十三回忌の何よりの供養になったと喜んでいました。長女である私は幼い甥や姪と何年ぶりの海水浴、我が家の子供達からその姿は祖母のように見えていたそうです。念願を果たした熱の冷めない頃に長女から「結婚三十年のお祝いにハワイ旅行をプレゼントするからいい日を決めておいて、お土産はいい、一ぱい楽しんできて!」といわれ喜びで胸が震えました。中古住宅の全面リフォーム、そして不況の影響を受けての生活、なのにとっても考えられないことでした。

十二月、十年ぶりのハワイで現地の人たちのクリスマスイルミネーションを夫婦で楽しむことができ、とても幸福者だと思っています。同期の皆さん近くにこられましたらお声をかけてください。

## 日々有意義に

谷本 貞子 23期生（松原市天美東）

二十一世紀の幕開け早々に、母校創立五十周年を迎え誠におめでとございます。月日のたつのは早いもので私も天高を卒業して二十四年目を迎えました。

省みますと毎年生活体験発表をさせていただいたこと、少しの時間を見つけては図書館に行き本に親しんだこと。また三年生のとき進学コースに合格でき昼は看護学校、夜は定時制に通ったこと。更には友との語りも楽しく青春真っ只中で本当に有意義な四年間であったことなど、懐かしく走馬灯のように次つぎと思いついております。

さて現在の私は大阪市を定年退職し、診療所に勤める傍ら健康アドバイザーとして病める方がたの愛の手足となつて励んでおります。よわい六十五歳になった今も心身ともに健やかでいられることを感謝し、とても幸せです。

最後に母校のますますの発展を心からお祈り申し上げます。ありがとうございます。

## 詩二編

森本 敏夫 24期生（東大阪市横沼町）

一 桃蔭の庭に咲く花

朝夕の

ちがいはあれど

咲く花 ひとつ

二 桃蔭の庭に降る雨

朝夕の

ちがいはあれど

降る雨 ひとつ

三 桃蔭の庭に散る花

朝夕の

ちがいはあれど

散る花 ひとつ

一 水清かれど

ただそれだけで

住む 魚の心

人には 知れず

花美しかれど

ただそれだけで

その花の 心

人には 知れず

空碧かれど

ただそれだけで

その空の 心

人には 知れず

## 親切で熱心だった先生がた

脇 豊茂 16期生（大和郡山市小林町）

奈良県から大阪へ転勤になり三年の二学期から天高へ転校、徳永忠和先生にお世話になりました。また同級生の中山富央君、斉藤喜治君には大変よくしてもらいました。三十年以上昔のこととなりましたが佐山和子先生、中村宗彦先生、池田信康先生、外園一人先生、三上敦史先生、栢木昭一先生のお姿をはつきり思い出します。

十年遅れ二十五歳で定時制高校に入学して感動したことを覚えています。先生が親切で熱心に授業をしてくださったからです。

昨年の紅萌会総会に出席して、五十周年記念にはぜひ出席しようと松田校長、東先生、（岡先生は本年で定年退職となります）新卒業生の方がたと約束しました。再会が楽しみです。会報では毎回、徳永先生と森本登茂子さんのお名前が載っていて懐かしんでいます。

## 思い出いろいろ

坂本 つよみ 18期生（三重県亀山市）

私が天王寺高校に通ったのは昭和四十三年四月～昭和四十七年三月までの四年間です。昭和四十二年三月熊本県天草郡の中学を卒業してシャープ（株）に就職しました。最初から定時制高校に行きたいと思いましたが都会の夜を心配する親に反対されあきらめました。一年間同じ寮から通う同僚を眺めていましたが、中卒はイヤダ」という思いは募るばかり。勉強が心からしたいというよりはコンプレックスの塊にはなりたくない思いのほうが強かったと思います。寮や会社にも慣れた私は意を決して必要書類をそろえ受験しました。無事合格し入学したら会社よりも学校のほうが自分の本場の居場所のように感じました。

勉強はそれなりに……テストをクリアすればOKもっぱらバスケットボールのクラブ活動に力を入れました。一・二年生のときは先輩も多かったのですが三年生では学年で私一人、四年生の先輩も一人だけという状態になりました。頑張って部員募集をし後輩に恵まれ廃部することなくバトンタッチできたときは本当にほっとしました。高津や市岡、八尾高校に練習試合してもらったり合宿にも行きました。私自身は運動は苦手でもヘタクソでしたが、バスケットクラブを四年間続けたことが一番の思い出です。

雨漏りのする体育館、いつも元氣一杯目をクリクリさせて走り回ってみえた栢木先生、デンマークの土産話をしてくださった外園先生、顧問をしていただいた板垣先生、懐かしく思い出します。

教室での思い出はやっぱりストープの前でぐっすり眠っていたことです。バケツに入った石炭を貰いに行つてストープの番を積極的にやったのは、自分が一番あったかいつころで眠るのが目的だったような気がします。

大重先生の古典（子守唄）、中本先生の数学（チンプンカンペン）、地学や化学は随分サボりました。すみません。

四年生になると随分空席が多かったように思います。私は職場に恵まれ通学は大変ではなかったのですが、病

院や自動車整備など厳しい職場の人は大変だったと思います。

充実した四年間が終わり十八期卒業生となりました。勉強したことは殆ど忘れましたが先生や先輩、後輩、友達から受けた影響は私の基本となつていようように思います。

『人に接するに気品あり、事を処するに聡明なるを由とする』天王寺高校の教育方針だったこの言葉を忘れないうで生きていこうと思つています。

## 歳月の重み

牛丸 剛 1期生(大和郡山市矢田山町)

この文をつづるあたり、三十周年記念誌を読み返してみた。どのページにも貴重な記録や感想が一杯詰まつており、あらためて感動を覚えた。その中に一期生の赤壁光郎氏の一文が載つていたが、氏はすでにこの世を去られ多くの同期生の消息が明らかでない昨今、五十年の歳月の重みを噛み締めている。

私たちが在学した開校当時は、照明を初めとする諸設備が不十分で、落ち着いて勉強できる環境とは言い難かつたが、生徒の方は仕事と勉強の両立という目的に向かつて精一杯努力していた。しかしそういう生活を四年間続けることは大変で、私なども挫折しかかつたことが一再ならずあつた。中途退学者が年々増え、無事卒業できた者は当初入学者のうち半数強であつたらうか。

卒業後四十六年、古希も過ぎた今振り返ると、天定の四年間は苦しかったが得るところも多かつたと思つておく。紅萌会が卒業生の絆としてますます発展することを祈る。

## 会報が結ぶ仲間の思い出

方 貞淑 36期(東大阪市灰塚)

短大卒業後より八年間勤務しておりました会社が他府県へ移転したため、昨年末にリストラされ退職いたしました。

冬場は隔週にスキーに行つたり、毎月近場ですがあちらこちら小旅行に出かけたりして楽しんでおります。

最近あべの職安にたびたび行くので、天高の前をよく通ります。思い出深い旧校舎じゃないのが少し寂しいです。楽しかつたこと、当時悩んでいたことなどを思い出します。

爽やかな五月の季節、会報が届くたびに「ああ、また一年経つたのだな」と卒業してからの毎日を振り返る癖がつき、人生を見つめなおすよい機会になっていきます。

厳しい世の中ですが、頑張り屋さんだった級友の面々を思い浮かべて「皆も頑張っている筈」と励みしております。十年ぶりに顔がみれたら嬉しいですね。

## 故郷に帰りに

上村 壽子 13期生(鹿児島県川辺郡坊津町)

天定の皆さん、十三期の皆さんお元気ですか？

私は大阪を離れ生まれ在所の坊津に住んで早や三十年の月日が流れようとしています。帰鹿して十年後仕事に出て、坊泊保育所で給食婦として二十年になります。

公立です。園児曰く「先生何歳」、「四歳よ」、「じゃ僕といっしょにお座りしましょう」といったように四歳児になつてゐる私です。

今年国の景勝地に選ばれた「双剣石」のある坊津の地、リヤス式の海岸が続いて昔は中国との交易もあり、鑑真和上の名を取つてお祭りもあり(夏)、京都の雅やかなお祭りもあり(秋)ます。日本史に出てくる近衛氏(公家)の屋敷跡の藤が五月には咲いて、昔を偲ばせてくれます。そんな田舎より皆様のご活躍を祈念しながら、二十一世紀を担うであろう子供達の健康のために食事づくりに頑張っている私です。

## 天定は永遠なれ

藤田 儀信 10期生(岸和田市三田町)

昭和二十九年三月、思い出多き学び舎天王寺高校を卒業して、早くも三十七年の年月が過ぎ去ろうとしている。

つい先日といっても、十月七日に十期の同窓会を上六の天山閣で四名の先生をお迎えして開催したばかりです。同窓会は四年ぶりで四年後の再開を今から楽しみにしている状況です。

我々が天高で過ごしたのは昭和三十四年～三十九年です。高度成長期の前で、もはや戦後ではないといわれながらも、まだ世の中全体が貧しく、食べるのが精一杯という状況であつた。全日制高校への進学率は六十数パーセントの時代である。従つて中学卒業後就職する生徒も多く、職を求めて地方から都会へ人口の流入が激しかった時期でもある。中卒で就職する生徒は「金のため」ともてはやされ、就職列車に乗つて、集団で都会へ就職をしてきていた。

我々の仲間にも九州や四国から大阪に出てきていて、天定で学んでいる生徒も多くいた。だから、中学校を卒業して直ぐよりも、一・二年遅れてから定時制高校に入學してくる生徒のほうが多かつた時代であつた。つらいことではあるが定時制の生徒は仕事をしながら、勉強するのが当然のこととして受け止められていた。

寒い冬に仕事で疲れていても、石炭ストーブの入つた教室で、仲の良い友達と話をしたり、先生のやさしい励ましの言葉で、「ああ今日も学校にきてよかった。明日も頑張ろう」と元気を出したものである。

ちなみに十期生入学時の生徒数は百五十名、卒業時の生徒数は途中からの転校生も含めて、百三十四名である。卒業生は入学時の半分くらいになるといわれた時代に、驚くべき数字である。それだけ高校教育にあこがれていたし、魅力のある学校であつたと言えるのではないだろうか。

昨今、高校生の中退者が急増しているとか、定時制が全日制中退者の補充をしている等のニュースを聞くたびに少し淋しく思うのは私一人だけでしょうか。

同期のものが顔を合わせると、すぐに三十数年前にタイムスリップをし、話の花が咲く。今は、会社を経営したり、市役所の課長になったり、大きなお店を任されていたりして、第一線で活躍しそれぞれの分野で社会に大きく貢献している。

髪には白いものが目立ち始めたり、少し残すだけの者も増えてきているが、内に秘めたる決意や意欲は、衰え

る事を知らない。

私は卒業後教員を志し、二十六才で小学校の教員となり現在（岸和田市立八木小学校校長）に至っている。これからも天定魂を胸に頑張っていきたいと思ひます。益々の天王寺高校定時制の発展をお祈りします。

## 天定魂未だ衰えず

堀田 佳弘 24期生（藤井寺市道明寺）

私には、忘れられない思い出があります。二十三年前の十月二十三日、彦根陸上競技場の四〇〇m決勝の第五コースに立っていました。スタートのピストルが鳴って走り出し、ゴールのテープを最初に切ったのは私でした。この時のことを思い出すと、いつもこみ上げるものがあります。

今まで、つらいことも乗り越えられたのも、このときの気持ちがあるからだと思います。天高時代の一・二年生の頃はだんだら登校しているだけでしたが、この陸上競技に出会って、僕の心が一変しました。クラブが終わってから会社の寮に帰ると、いつも二十三時をまわっていたのを覚えています。みんなに支えられここまでこれたかなと懐かしく思います。

いまは、健康のためマラソン大会又は職場の競技会で活躍しています。

メールアドレス・UHG04416@nifty.ne.jp

PHSメールアドレス yoshi0006@di.pdx.ne.jp

## 天定・今昔二十五年

東 庸太郎 現教職員（和泉市鶴山台）

卒業生の皆さん、創立五十周年おめでとうございます。私が天定に赴任したのは昭和五十二年四月で、奇遇にも天王寺高等学校定時制課程設立後丁度二十五年でした。往時を振り返ると、私自身も勉強がしたくて勤務の傍ら、昼間に五年間大学で勉強をしました。その後、進路関係の仕事に長く携わりました。その当時は、大阪市の公務員も今日のような狭き門ではありませんでした。大

阪市大病院の看護助手として働きながら本校を卒業するとそのまま任用がえとなつて動物園・市役所等の職員になれました。世の中が高度経済成長の時期でした。

しかし、この高度経済成長もそんなに長続きしませんでした。ただ公務員以外の中小企業関係の会社からは結構求人がありました。また、大学等の進学希望も出てきました。近年は、気に入った就職先が少なく、アルバイトのまま卒業する生徒が増えているようです。逆に、専門学校・短大・大学等への進学者が増えています。

定時制教育の見直しの中で平成六年から三年で卒業できる、定通併修二年制が導入されたことも大きな変革でした。高等学校が義務教育化し定時制高校に入学する生徒の志望動機も多様化してきました。基礎からじっくり学ぶには四年制を、できるだけ速く卒業し、専門学校・短大・大学等へ進学を目指す生徒には定通併修二年制を選択し、活用することができます。

また、在学中にパソコンの入門から情報処理や文書処理も学べます。さらに、卒業生は書道等の講座も聴講することができます。このように定時制高校は「生涯学習」の場として見直されています。

人は常に好奇心を抱き、向上心を持っています。人は生ある限り勉強の連続です。健康に留意してお互いに頑張りましょう。

## やさしさ・勇気を

### 育んでくれた母校

木村 富士夫 10期生（大和郡山市築山）

東京オリンピック開催の年に卒業した十期生です。いまある心やさしく力持ちな根性を育んでくれたのが母校です。

私の生い立ちから母校への入学の道程がちよつとは無関係ではない様に思えて端的に筆を走らせます。昭和十九年九月誕生、その翌年八月終戦、勿論戦争を知る由もありませんが。戦後の影響はご多分に漏れず我が家もどん底生活をしいられ、少しは人並みの家族団欒を味わえたのもつかの間で、中学生の頃に両親は離婚、とぼち

りを喰らって放浪生活同然の中、天高定時制に入学、校内で苦勞仲間を多く知り勇気付けられて今の頑丈な自分がある次第。

昼間の会社勤務疲れは感ぜず、勉強できなくとも友に会つて騒ぐのがまた楽しく、あつという間の四年間だったな。全日制では味わえない定時制生活を誇りに思ひ、皆がイキイキしていたぞ。学校給食が家族団欒でもあつたように思う。

アルバムを見ては、今は亡き友もいるし、声を掛けてしまふ奴、今にも声を掛けてきそうな奴もいる。

思えば二年生の夏休みに気の合った友と生まれて初めての旅行、北海道へ旅したときはほんまに生きる喜びを吸収して帰つて来たものだ。あの時の「喜びと旅の味」が今では毎年海外旅行へと掻き立てられている始末なんです。

## 通信制大学のご紹介

前田 尚美 9期生（大阪市住之江区）

私、九期生でこの七月で五十六才になります。会社勤務の傍ら四年生通信制大学である京都の仏教大学社会学部社会学科を六年かけて無事卒業しました。毎年卒業生は入学生の約一割、平均在学年数は七年と厳しい現状ですが、私自身も時間に追われた日々を振り返りよく卒業までこぎつけたな、と嬉しさより持続できた自分に感じました。

卒論は長い間社会に携わっている自分自身に関係する「女子労働」をテーマに書きました。

毎年紅萌会から送られてくる会報の進路状況を拝見して、夜間大学の進学も諸事情で無理であるなら通信制の大学進学を是非お奨めします。学費も昼間大学の二割もかかりません。自分が納得いくまで研究できます。ただ、持久力さえあればかならず卒業できます。それに専門書のすばらしい味を感じたときほど嬉しいことはありません。友もたくさん出来ます。四年生の通信制大学卒業生として天定の後輩の方がたにお奨めいたします。是非頑張ってください。



## 師弟の友情

今中 啓旦 旧教職員(奈良市秋篠三和町)

卒業生の皆さん、母校が創立五十周年を迎え、さぞお喜びのことでしょう。まことにおめでとうございます。

前号の会報の「友情のページ」で、六期の梶原文明氏(長崎県)が小生のことを言及してくださっているのを拝見し、驚いたと同時に、教え子のご厚情に感激しました。

小生は平成十年三月末で六十五歳で定年退職し、現在は非常勤で教壇に立っています。平成十三年三月で教壇生活四十六年になります。

ですから、梶原氏が小生のことを思い出して下さったのは、当時小生が駆け出しの英語教員として、がむしやらに英語と格闘していた姿が印象的であったためだろうか。と推察しているのです。

五年ほど前から血糖降下剤を毎朝一錠ずつ飲みつつではありますが、元気にこの二十二年間、大学の教壇に立ち続けています。

最後に母校のますますのご発展と、卒業生の皆様のご多幸とご健康をお祈りします。

## 日曜日の大阪府立天王寺予備校?のころ

梶原 文明 6期生(長崎県西彼杵郡長与町)

当時の教育課程は文科系大学に進学できるものであった。高校三年生のときのことであった。理工系大学に進学できる教育課程を学校側に編成してほしいという希望をもった。

講堂で行われた生徒総会において私は次のとおり発言した。「四年次においては人文地理を削って(省いて)化学三単位を五単位に増やしてほしい」と。先生がたに聞き入れられて理科は生物五単位、物理五単位、化学五単位の計十五単位履修となった。懐かしい思い出である。

このことにより私の進路は理科系に進もうと決意しました。四年生のとき土曜日の午後、日曜は学校に行つて教室で自習をしたものである。全日制生徒も教室にやっ

てきて自習している者もいた。天王寺高校は当時地域の人から「大阪府立天王寺予備校」と呼ばれていた。おかげで私は浪人をした後、広島大学教育学部理科専攻に合格できたのである。

## メッチャ楽しかった四年間

竹内 正子 39期生(大阪市平野区)

私の高校時代といえば、それはそれは、もう楽しい高校生活でした。

中学三年のとき、〃定時制はアホが行くとこやぞ〃みたいな事を言われて、すごく悔しい思いをして天王寺高校入試、いざ学校に入ったらすごく優しい先生、楽しくつてにぎやかな友達、〃嫌なことを言った人を見返したる!!絶対四年間で卒業する〃と誓ったのを覚えています。

病気持ちのため入院を繰り返したり、いろいろあつたけど体育祭のときは競技の時の音楽を決めたり、文化祭の時は三年間も!!カラオケを歌わせてもらったり、楽しかった。本当に最高の四年間でした。

そして、こんな私を四年間見守つて下さった先生方に本当に感謝しています。これからもずっと〃天王寺高校定時制〃を卒業したことを誇りにして頑張ります。

## 山岳部の思い出「I」

森 利明 20期生(大阪府泉南郡熊取町)

万博の年、昭和四十五年四月に二十一才で天定に入学しました。一年生が四クラスあり、四組は男子十八名、女子は二十八名前後いたと思います。

残念ながら月日が経つにつれて学校を休む生徒が多くなり、夏休み・冬休み明けには男子が目立つて天定を去つて行きました。卒業時には四年一組で男子八名、女子二十四名でした。定時制高校を卒業するには、自分自身の気力も必要ですが、職場の理解と協力がなければ出来ません。そして何よりも学校に行く楽しみを見つけることだと思えます。

私は、山岳部に入り多くの学年を超えた仲間や、情熱を持って指導してくださった先生方に巡り会ったおかげで、楽しく充実した四年間を過ごさせて頂きました。

その後、近大II部法学部に四年間通いましたが、引つ込み思案の私が何事にも積極的に参加するようになったのも、何事にも立ち向かい乗り越えてゆける自分が培われたのも、あの時頑張った自分があったからだと思えます。天定五十周年おめでとう!!

## 山岳部の思い出「II」

堀内 年子 22期生(香川県観音寺市江之尻町)

看護学校受験の必要に迫られ天定に入学した。クラブは山岳部を選んだが、先輩の指示されるままただついて歩いてたのが楽しかった。光と風に波打ち輝くスキの草原おかめ池、足もと険しい大台ヶ原、大雪溪に胸躍る白馬岳、遠近高低それぞれ美しい光景と友の顔が思い出される。

昨年の夏、黒部立山アルペンルート観光バック旅行に参加した。下界の暑さから逃れ、残雪を山懐に抱く気温十五度の快晴の室堂に立ち、あまりの絶景に涙が出そうになった。

悪天候で一寸先も見えず、ガスのなか、かろうじて読める室堂の標識をバックに記念写真をとり、立山縦走を断念して下山した思い出の場所だったのだ。

標高二五〇〇mを歩いて登った天定時代は遠い昔になってしまった。山岳部に後から入部してきた彼は、今は天定時代をもとに語れる最愛の夫となっている。

## 記念式典理事会に出席して

多田 寿枝 32期生(大阪市住吉区)

去る一月十八日夕方六時三十分からの会合に出席のため、十五年振りに天高を訪れました。正門にたどりつくのに夜のことでもあり思いのほか手間取り、会場の円型校舎会議室にやつとのこと到着、すっかり変った母校に「光陰人を待たず」の諺を実感しました。

会議室の窓越しに見える運動場を走る後輩達の姿に、十数年の昔最後尾をもたもとと走っていた自分の姿が重なり、思いがけない回想のひと時を過ごさせて頂きました。

翌日から同窓会名簿を頼りに同窓会出席のお願いや、住所の確認等でご家族の皆様方にも大変ご迷惑をお掛けしました。どうぞお許し下さいませ。

五月二十日、皆様にお会い出来るのを楽しみにしております。

## 生徒そして教師

高木 和子 25期生 (大阪市東住吉区)

輝かしき二〇〇一年三月、私は天王寺高校定時制の学び舎を二度卒業することになります。生徒時代を含めると約二十年もの長い間お世話になりました。

入学当時は今と違って、熟年者が少なかったと思います。もちろん私も熟年入学で数学や物理に、ついてゆけるかと心配でした。英語は好きだったのでYMC A本校で基礎だけは学びました。

大学受験は当然二三年はかかると覚悟していましたが、幸いにも卒業の翌年に神戸市外大Ⅱ部(当時阪急六甲)に合格、大阪から四年間通学しました。

大学卒業後直ぐに本校で全盲の英語教師のアシスタントを二年勤め、その後非常勤講師として現在に至りました。その間昼間の高校や工業高校へ各五年間勤め、いろいろな経験を積むことができました。何しろ新卒で力量不足なのに顔だけはベテランなのでギャップを埋めるのに大変でした。

その点母校はありがたいもので、生徒も後輩で気やすさもあり、先生方や周りの皆様にもあたたかくサポートをして頂き、至らぬ私をお導きくださったことに心から感謝をしております。

卒業時は、明石校長先生(早くに亡くなられました)で、私は答辞の中で「高校で習ったことを基礎に、卒業後はそれぞれの道を目指し夢の実現に努力していきたい」と述べたことを思い出しました。

最後に左の詩をモットーに、充実した人生を送りたい

と願っています。

## 「青春」

サムエル・ウルマン

「青春とは人生のある期間ではなく心の持ち方をいう」

「年を重ねただけでは人は老いない理想を失うとき初めて老いる」

## 三十六年前にタイムスリップ

寺西君江 11期生 (和歌山県海南市)

昭和四十年に卒業して早や三十六年になりますが、同窓会に出席させて頂いたのは一回だけです。子供に手がかからなくなったと思うと、母親の世話でついつい足が遠のいてしまいました。今年是非出席させて頂きます。

天高へは、看護婦養成所の先輩の多くが通っていたこと、英語の松浦先生、体育の栢木先生が来られていたという事で入学しました。一番楽しかったのは、冬の寒い時期にストロブを囲みながら、色々な事を皆んなで話し合っただけです。今、学級崩壊、いじめが問題になっていますが考えられない事です。遠足等の写真を見ていると、皆の顔が懐かしく思い出されます。

## 今一度、年会費の納入にご協力を

紅萌会の運営については、皆さんからの年会費によって賄われていることについては既にお知らせしているところですが、一昨年はよりはそれに加えて、2001年の50周年事業に向けてご協力をお願いしています。その結果、従来にも増します皆さんのご協力をいただき、郵便振替による年会費に加えて多額の寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

また、5月の総会に出席された方からも、会費や寄付をいただきました。多額の年会費・ご寄付をいただき、本当にありがとうございましたことだと役員一同感謝しています。このように年会費(年間1200円)を多くの方に振り込んでいただき、支えていただくことが、同窓会の活動を継続していく力だと感じています。また、今年の50周年記念事業の実施に向けて、その内容を検討するとともに、資金については引き続き皆さんのご協力をいただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願致します。

## おことわり

式典案内のため発行を従来よりも、一ヶ月早めました。教職員人事異動、進路状況は、来月号で掲載いたします。

## そのほか、ご返事を頂いた方がた

(敬称略)

(近況、通信はございませんでした。)

国正恵三(旧教職員) 佐藤陽二(旧教職員) 加藤銀一郎(旧教職員) 藪下植千代(1) 高橋孝弘(1) 牛丸剛・寿美子(1) 犬飼喜信(2) 山岡博(2) 中山義雄(3) 丸山実(3) 小林明美(3) 植本彰(4) 油谷勝次(4) 有吉喜八郎(5) 内田健三(5) 小浜瑞江(6) 網野朝俊(8) 浜野弘美(8) 丸木金勝(10) 落合秀行(11) 林清太郎(11) 鈴木弘子(12) 三井郁子(13) 上村千寿子(13) 横山憲子(13) 大江道子(14) 坂東二三(15) 児玉章美(15) 脇豊茂(16) 稲葉貞夫(18) 浦崎信子(18) 押谷由登美(18) 南本良子(23) 藤本辰男(24) 新見サチ子(27) 石橋清子(31) 多田寿枝(32) 野間稔貴(32) 小川加代子(33) 山田順一(33) 川田光夫(33) 池崎照子(33) 上野雅史(33) 田中敏子(34) 方貞淑(36) 勝間秀吉(39) 岡本君子(41) 金田隆志(41) 橋口佳代子(42) 田中雅彦(44) 佐藤博子(44) 木口清志(45) 井上暁夫(45) 田中未来(46) 佐武亨識(46) 西尾光司(46) 梁福守(46) 李明玉(併2)

